

## 令和6年度 第5回 FMはまなす番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和7年1月29日(水)
2. 開催場所 岩見沢市有明町南1番20  
岩見沢市コミュニティプラザ2F 会議室A
3. 出席者 審議委員総数 8名  
出席委員数 4名  
  
出席委員の氏名
  - ・岡 嘉彦
  - ・永沼 興子
  - ・仁志 正樹
  - ・畑 孝子  
局側出席者
  - ・阿部 啓吉(代表取締役)
  - ・松井 宙夢(事務局)
4. 議題 「局制作番組」「市民制作番組」についての審議
5. 議事の概要(放送日1/9～1/14)
  - (1) 局制作番組について  
「歌謡カラオケ1. 2. 3」
  - (2) 市民制作番組について  
「今の自分」

## 6. 審議内容

### (1) 「局制作番組」について

#### 「歌謡カラオケ1. 2. 3」

演歌好きの方のための番組。雪道山パパの歌唱を中心に、ゲストや市民の方の歌声をお送りしている。

#### ① 事前意見回答報告

##### 岡委員長

###### 1月14日(火)の放送について

「カラオケファンには楽しい番組です。ヒロム君の声が奥から聞こえる感じ、聞こえない二人の番組なので聞こえるように。曲により音が違うのは、録音なので仕方ないのか。CM後の放送の進め方はどうか。」

##### 永沼委員

###### 1月9日(木)の放送について

「皆に歌って欲しいという気持ちは分かるが、1番だけ聞いている私には音も雑に聞こえる。司会者は満足していたようだが、やはりあれだけの人数では大変だろうと思う。」

##### 仁志委員

###### 1月14日(火)の放送について

「雪道山パパの軽妙なトークで始まる番組は25年目なのですね！！お話しの声と歌声の違いが別人にも思えるのは、私だけなのかもしれませんね！！比較的年齢の高い方々の夢と希望を歌声に乗せて歌う歌は心に沁みますね！！懐かしい歌謡曲に当時の事を思い出せた楽しい時間でした。何方も年齢ではなく声を出す事、沢山の人が集まる会場に足を運ぶ！！「素晴らしい」ですね。「元気が一番！！」今後も聞きたい番組ですね！！」

畑委員

1月9日（木）の放送について

「雪道山パパとひろむ君。雪の話題をひとしきり、その後令和6年年末の忘年会を兼ねながら番組の収録（公開収録）の様子から、ゲストを交え、一般の人達の歌声をワンコーラスずつ紹介。4月で25周年を迎えるそうです。長く続く事を願っています。」

② 審議

岡委員長

「審議を始めます。沢山の方が歌ったので楽しめました。ひろむ君の声が遠く聞こえましたが。」

事務局松井

「雪道山パパが一人で進める方法が良いのかと。今後は自分も参加しても良いのかと思いました。二人で放送していただける体制にしていければと思っています。」

仁志委員

「会話のキャッチボールがあるのは良いと思います。」

畑委員

「雪道山パパは独特のリズムがある方ですが、メリハリがあると良いと思います。今回は1フレーズだけで進んでいたので特に思いました。」

事務局松井

「40人ぐらいの方が歌いました。2週にわたっての放送で詰め込んだ感じになりました。」

永沼委員

「一般の方ですか？」

事務局松井

「一般とプロの方もいます。」

岡委員長

「録音したのを流すので音が違いますよね。」

事務局松井

「響き方とか曲の聞こえ方は違いますね。」

岡委員長

「CMの後に番組説明があった方が良いのでは？」

事務局松井

「番組中に言ってはいますが、CMあけにあった方が良いですね。」

岡委員長

「カラオケなので好きな方も多いのではないですか？」

事務局松井

「市内のカラオケ店で子の放送時間になったら流してくれる所もあります。」

仁志委員

「台湾の方もいますよね？」

事務局松井

「台湾の方が録音したものを送ってくれます。」

畑委員

「交流があるという事ですか？」

事務局松井

「はい、あります。」

岡委員長

「楽しい番組だと思います。これからも続けて頂きたいです。では次に進みます。」

(2) 「市民制作番組」について

「今の自分」

女性として妻として、母としての目線から日頃気になった事を題材にして今の自分が思う事、感じることを放送している。

① 事前意見回答報告

岡委員長

1月14日（火）の放送について

「思いつきなのか、自分の昔を語っている感じで整理したい感じ。子供の育て方等、余りにも個人的なのではないだろうか？」

永沼委員

1月10日（金）の放送について

「昔のピアスの開け方を説明していたが、ラジオでいうのは間違っていると思う。ピアスをする年齢は自分の考え方ではないでしょうか。」

仁志委員

1月14日（火）の放送について

「番組の中で何度も名前が出て来る「大砂まなみ」さんの「トーク」！以前に聞いた時の感想と少し違いました。肩の力が抜けて聞き易くなった気がします。ご自分の子供さんの成人（18歳）を迎え、互いの成長を第三者的視点からも楽しみながら観察をし、成長を楽しんで見守る姿に、共感を覚えました。次回放送も、楽しみにしています。（子供出身のオジサンより）」

後藤委員

1月10日（金）の放送について

「成人式が近いということでご自身のお子さんの話など……。同じ世代の子を持つ立場として楽しく懐かしく聞かせて頂きました。」

② 審議

岡委員長

「タイトルはパーソナリティーの今の自分を言っている  
のですか？」

事務局松井

「はい、そうです。以前は局のスタッフでした。辞めて  
も番組を続けています。10年以上になります。今回もお  
子さんが成人したという事で話したと思います。」

畑委員

「番組の核になるものは無いのですね？」

事務局松井

「毎回内容は違います。」

畑委員

「曲は流れるのですか？」

事務局松井

「2～3曲流れます。」

仁志委員

「番組を聴いていて今は肩の力が抜けて成長しているん  
だなと思いました。」

岡委員長

「今は語ることがメインですよ。聴いている人は共感  
しながら聴けると思います。それがリスナーのにとって良い  
効果があるという事は良いと思います。個性を持つてする  
のは良いですね。他に意見が無ければ終了します。」

7. 審議機関の答申処置及び年月日

なし

8. 前回の審議会の指摘事項について改善した事項

(1) 局制作番組

「週末らぢお」

下読み練習等、聴きやすい番組作りを指導した。

(2) 市民制作番組

「The Nan Da Low Show」

引き続き良い番組作りを行うようお願いした。

9. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表内容、方法及び年月日。

公表方法	自社放送、ホームページ、局内設置議事録
公表内容	委員の主な意見
公表年月日	令和7年1月15日

10. その他参考事項

特にありませんでした。